

地域と共に発展を目指す CSR 活動

—ASEAN 3カ国での主な取り組み

東レ(株) CSR 推進室
室長 酒井恵子

日本を含む 23 の国と地域に拠点を置き、売上高に占める海外比率は 45%、海外に所在する社員数の割合は 57% (2012 年 3 月現在) である東レグループでは、「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」という企業理念のもと、創業以来、本業を通じて社会に貢献する志を掲げてきた。2003 年には CSR 委員会を設置し、第 1 次 CSR ロードマップを制定し、翌年には 10 項目からなる独自の CSR ガイドラインを設けて活動を推進している。この枠組みのもとにグループ全体での CSR を推進し、各地域に根ざした事業の育成と持続的な成長を目指している。

各地域のステークホルダーについては、共に未来を築くパートナーとして認識し、CSR の視点での相互理解を指向している。特に ASEAN 3カ国 (インドネシア・マレーシア・タイ) には、約 40 年以上前と最も古くから進出しており、CSR 活動の海外展開にあたっては、この地域から 2007 年に開始した。本稿では、国内外で実施している幅広い CSR 活動の中から、ASEAN 地域で展開している主な取り組みを以下の通り紹介したい。



タイ東レ科学振興財団での科学教育賞の最終選考でプレゼンテーションを行う教員。同賞では理科教育の観点から、効果的な指導方法、教材、実験器具を選定している。

東レ科学振興会の活動

日本で 1960 年に設立された (財)東レ科学振興会の精神を受け継ぎ、ASEAN 3カ国でも 1993 ~ 94 年に東レ科学振興財団を設立し、各国で基礎研究に対する支援を開始した。3カ国それぞれの科学振興財団は現地有識者により主体的に運営され、それらが毎年実施する褒賞や助成は 3カ国の合計で約 90 件になり、科学技術の進歩や発展に貢献している。

マレーシアでの主な活動

PAB 社^(*)は、東レグループで策定した CSR ロードマップと CSR ガイドラインの枠組みのもとに各部署で年間行動計画を掲げ、2カ月ごとにフォローアップを行っている。2012 年度は CSR ガイドラインに基づき 18 項目の具体的な活動を定め、法令遵守、リスクマネジメント、環境の各分野から重点活動を選定して推進している。また、従来から注力している通勤時の事故防止活動では、安全運転の指導に加え、全バイク通勤者に反射ベストを配布し着用を義務づけた。

PAB 社では「CSR ニュースレター」を 2008 年 12 月から毎週発行し、これまでに 200 号以



(上) PAB 社
(左) 支給されたベストを着用して通勤する社員



PAB社のTeh社長（記事中写真）が毎週欠かさず執筆するCSRニュースレター

上が発行されている。そこで社長メッセージ、経営方針や業績などを発信すると共に、各工場のCSRスコアカード(CSRガイドラインごとの進捗報告)、関連法規の改正情報やCSR関連ニュースなどの共有を行っている。また、2012年5月からは「Greener PENFABRIC through Sustainable Lifestyle」を掲げ、環境保全や持続可能性を高めるための取り組みを開始している。

タイでの主な活動

2011年に発生した大洪水では、タイ東レグループ会社の2社で一時操業を停止するなどの被害があり、うち1工場では冠水する被害を受けたが、2012年5月には完全復旧し、現在は全ての工場が通常通り稼働している。タイ各社ではこれを教訓として、排水溝の新設、ポンプの改善、調整池の拡大、コンクリート壁や土塁の建設など防災対策の強化に取り組んでいる。さらに洪水被害発生時には、これら工場を近隣地域に対する「洪水支援センター」として機能させることにしている。

タイの各社では従来から積極的に社会貢献活動に取り組んでおり、近隣の学校、寺院などの支援を行っている。例えば、LTX社^(※2)はタイ工業省によるCSR活動の認定取得を目指して、事業



洪水対策のために建設した土塁（左）TTS社^(※3)と近隣地域による防災に関する会合（右）



生徒にゴミの分別について指導するLTX社の社員

に関連性の高い活動を通じたコミュニティの自律支援プロジェクトを推進している。2012年度は縫製の指導を行い、エプロンを作成・販売するプロジェクトや近隣学校の補修、環境教育などを実施した。

インドネシアでの主な活動

インドネシアのISTEM社^(※4)・ACTEM社^(※5)では、「CSR遵守経営による持続的成長の確実な実現」を経営ビジョンとし、現地社員によるCSR委員会が主体的に活動を推進している。2012年3月には社会的責任に関する国際規格であるISO26000に基づいた第三者評価を行い、安全活動、環境などの面で高い評価を得ることができた。特に社内での英語共通言語化や、社長自らが行う若手リーダー研修などの施策が社員の意識向上につながっていると評価された。地域社会への貢献では、小学生へのフットサル教室、高校生対象の写真コンテスト、孤児院への支援、社員用モスクの地域への開放などを行っている。



ラマダン期間にISTEM社・ACTEM社に招かれた孤児たち

東レグループでは、これからも本業を通じて各国・地域に密着した主体的な活動を展開していきたいと考えている。

- ※1：PAB = Penfabric Sdn. Berhad
- ※2：LTX = Luckytex (Thailand) Public Company Limited
- ※3：TTS = Thai Toray Synthetics Co., Ltd.
- ※3：ISTEM = P.T.Indonesia Synthetic Textile Mills
- ※4：ACTEM = P.T.Acryl Textile Mills

◆東レグループのCSR・環境活動

<http://www.toray.co.jp/csr/index.htm>